

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 二重被覆ハウス・循環扇導入による製品率向上・高品質栽培の取組  
中古ハウス・空きハウス利用により栽培面積販売額増加への取組

計画作成主体 : 砂川市農業再生協議会  
対象品目 : ひまわり (産地面積 : 1.8ha)  
主な取組主体 : 砂川ひまわりグループ  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
助成金の活用 : 生産支援事業  
状況

## ポイント

循環扇と二重被覆による省エネ設備を有するパイプハウスの増設により、低温期の加温に係る燃料費の削減。

安定した生産及び中古パイプハウス、空きパイプハウス利用により、栽培面積・販売額増加への取組を推進することで、販売額10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状:H27年度

作付面積 : 1.6ha  
病害による製品率の低下  
高温期の品質低下  
市場クレーム

目標:H30年度

作付面積 : 1.8ha  
高品質割合の増加、市場クレーム減少による産地信用販売力の強化を図る。



## 推進体制

地域の関係者 (砂川市、奈井江町、新砂川農業協同組合、空知農業改良普及センター、空知支所、中空知農業共済組合) が一体となって、事業推進。

## 地域における独自の取組

主な取組

花き日持ち性向上対策品質管理認証  
花径に合わせた選別出荷パンフレットの作成と市場を通じたPR

道・市町村単独事業

なし

## 事業効果

「7品目中1位」  
(H26主要品目中10a当販売額の順位)

循環扇と二重被覆による省エネ設備を有するパイプハウスを増設し、ハウス内の温度確保と十分な換気を行うことで病気の発生を軽減し、高温期には循環扇によりハウス内温度を下げることで高品質なひまわりを安定的に生産。

また、中古または空きパイプハウスを活用することで、栽培面積が拡大し、生産量も増加。このことにより、販売額が増加し、生産者の所得の向上が図られる。

~販売額の増加(総販売額)~

